

藤沢東小だより



令和6年度 第8号

12月2日発行

こどもの伸びる力は、国語力にあり！

AI（人工知能）時代の到来、さらに、コロナ禍を経て、子供たちには予測困難な時代を生き抜く力が求められるようになりました。現在、一人一台端末（タブレット）が配付されたことにより個に応じた学びを提供できるようになりました。その反面、全国的に子供の読書量が減り、他者と会話を楽しむ時間も減ったように感じます。また、望ましい人間関係を築けず、友達とのトラブルが起こるということもあります。子供たちの将来を考えると、コミュニケーション能力は必要な力であり、他者と協働する世の中において育てていくべき力でもあります。

私たちは、生まれてから日々多数の言葉に触れ、その言葉を使うことで自分を表現してきました。まさしく、生きた言葉こそがその人そのものを表しているのです。正しい国語力を身に付けている人は、他者と関わることに柔軟性をもって関わるができます。また、互いの人間性を見つめながら、共に仕事をしたり、生活したりしていこうとする意欲にもつながります。

つまり、国語力が身につけている子供は、新しい状況下において何が重要で、何をすればよいかを整理し、判断することができます。全ての学びは国語力で決まるのです。

【国語力を身につけるためにできること】（大人も子供と同じことができるのが望ましいです）

- ☐ 読書をする ☐ 音読をする（暗記） ☐ 読み聞かせをする ☐ 紙芝居をする ☐ 新聞を読む
- ☐ 日記を書く ☐ 家族で会話を楽しむ（話題を決めて話す） ☐ 家族以外の人と会話をする
- ☐ 手紙を書く ☐ 辞書を使って、語彙を増やす ☐ 人の話を最後まで聴く ☐ 質問する

上記により、スマホやタブレット端末の使用時間を軽減させることにつながります。藤沢東小学校では、アウトプット（書く・話す・行動する）をする時間を意識させた教育を行っています。教師が話す時間をできるだけ減らし、子供たちの主体的な活動が増えるよう今後も工夫改善してまいります。

校長 吉野 正美

12月生活目標：学校をきれいにしよう

子供たちの表現力と3学期の通知表について

これまで、藤沢東小学校ではお子様に対して、アウトプットの学びを大切に学習を行ってきました。昨年度に引き続き、3学期の通知表は、担任からの所見ではなく、お子様自身が1年間の振り返りを自己評価として書きます。ぜひ、ご家庭でお子様の成長の様子をお読みいただき、温かい励ましの言葉をいただけますと幸いに思います。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

子供は、大人を見て育つのです・・・

『子は親の鏡』 【子どもが育つ魔法の言葉 ドロシー・ロー・ノルト著】

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育つと、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもをばかにすると、引っ込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる 見つめてあげれば、子どもは、自分が好きになる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

12月の主な行事

日	曜日	内 容
2	月	つくし遠足
3	火	音楽集会
4	水	5年生社会科見学
5	木	読み聞かせ、クラブ
9	月	大掃除週間
10	火	賞状伝達集会
12	木	クラブ
20	金	短縮4時間、給食最終日
23	月	短縮3時間
24	火	2学期終業式、短縮3時間



東っ子なかよしフェスティバル
みんなの笑顔が広がりました！



手もみ茶体験【3年生】
真剣な表情で手つきを学んでいます